



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タダノ

コード番号 6395 URL <http://www.tadano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 多田野 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理部部長

(氏名) 橋倉 荘六

TEL 087-839-5600

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	28,240	44.1	1,895	—	1,175	—	627	—
24年3月期第1四半期	19,594	18.6	△117	—	△222	—	△124	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,419百万円 (133.8%) 24年3月期第1四半期 606百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.94	—
24年3月期第1四半期	△0.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	162,209	79,044	48.2
24年3月期	161,176	78,518	48.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 78,175百万円 24年3月期 77,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,000	23.0	3,400	55.0	3,100	89.5	1,900	67.9	14.97
通期	132,000	15.6	7,500	27.2	7,000	21.1	4,500	43.1	35.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) タダノ・ファウン GmbH
(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	129,500,355 株	24年3月期	129,500,355 株
25年3月期1Q	2,553,678 株	24年3月期	2,546,528 株
25年3月期1Q	126,950,202 株	24年3月期1Q	127,001,656 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1 四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要が内需を下支えし、緩やかに回復しつつあるものの、欧州危機・円高・電力供給の制約等により、先行き不透明な状況になっております。また、米国経済は緩やかに回復しておりますが、中国経済は拡大テンポが緩やかとなっております。

私どもの業界は、国内では、復旧・復興にともなう稼働率の上昇が老朽化による買い替えを後押しし、需要は前年の供給不足による落ち込みから一転し、倍増しました。海外では、エネルギーや資源関連を中心に北米・アジア・豪州等で需要は大幅に増加しました。

国内売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーンの売上が揃って大幅に増加し、129億7千9百万円（前年同期比143.8%）となり、海外売上高は、円高ながらも旺盛な需要を背景に大幅に増加し、152億6千1百万円（前年同期比144.4%）となりました。この結果、総売上高は、282億4千万円（前年同期比144.1%）となりました。なお、海外売上高比率は、54.0%となりました。

経常損益につきましては、米国子会社での不正行為に伴う貸倒引当金繰入3億5千4百万円や為替差損3億3千2百万円を計上しましたが、販売価格の適正化や売上増加にともなう粗利増加もあり、11億7千5百万円の利益（前年同期2億2千2百万円の損失）となりました。四半期純損益につきましては、投資有価証券評価損7千万円を計上し、6億2千7百万円の利益（前年同期1億2千4百万円の損失）となりました。

さて、本年6月9日に公表しました当社連結子会社タダノ・アメリカ Corp. の元副社長の不正行為により、多額の損失を被ることとなり、株主・投資家の皆様をはじめ、関係各位に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。この事態を厳粛に受け止め、海外子会社の管理体制見直しによる牽制機能の強化・当社の海外子会社に対するモニタリング機能の強化等により、再発防止を図り、信頼回復に全力で取り組んで参ります。

なお、最大損害額900万ドルのうち、2011年度迄に発生した313万ドルは既に費用化済みで、残りの587万ドルは、当第1四半期にて未収入金に計上すると共に、回収見込み額を勘案した上で、営業外費用に貸倒引当金繰入を計上しました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①日本

日本では、高所作業車の売上は横ばいながら、建設用クレーン・車両搭載型クレーンの売上が揃って増加し、売上高は246億9千9百万円（前年同期比165.1%）となり、営業損益は13億5千9百万円の利益（前年同期4億5千3百万円の損失）となりました。

②欧州

欧州では、建設用クレーンの売上が前年迄の極端な落ち込みから回復し、売上高は50億9千1百万円（前年同期比170.2%）となり、営業損益は9千1百万円の利益（前年同期1億4千3百万円の損失）となりました。

③米州

米州では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は47億9千7百万円（前年同期比130.1%）となり、営業損益は3億8千4百万円の利益（前年同期1億3千2百万円の利益、前年同期比290.8%）となりました。

④その他

その他地域では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は28億5千9百万円（前年同期比131.4%）となり、営業損益は2億3千4百万円の利益（前年同期2億1千1百万円の利益、前年同期比110.8%）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。

①建設用クレーン

国内売上ににつきましては、復旧・復興にともなう稼働率の上昇が老朽化による買い替えを後押しし、需要が大幅に増加するなか、引続き販売価格の適正化に取り組み、45億2千3百万円（前年同期比193.4%）となりました。

海外売上ににつきましては、円高下にかかわらず、北米・アジア・豪州等の需要回復を背景に大幅に増加し、122億9千2百万円（前年同期比152.1%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は、168億1千5百万円（前年同期比161.4%）と大幅な増加となりました。

②車両搭載型クレーン

国内売上ににつきましては、復旧・復興需要やエコカー補助金等によるトラック需要の増加を背景に、30億6千6百万円（前年同期比216.2%）となりました。

海外売上ににつきましては、3億9千5百万円（前年同期比109.7%）となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は、34億6千2百万円（前年同期比194.6%）と大幅な増加となりました。

③高所作業車

需要回復が顕著なレンタル業界向けを中心に販売に注力しましたが、電力電工向けの落ち込みもあり、高所作業車の売上高は、17億9千5百万円（前年同期比99.1%）と横ばいとなりました。

④その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、61億6千6百万円（前年同期比110.4%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況に関する分析

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ10億3千3百万円増加の1,622億9百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少42億6千2百万円や投資有価証券の減少8億6千6百万円があったものの、棚卸資産が60億3千万円増加したことによるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ5億7百万円増加の831億6千5百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少11億7千5百万円やその他流動負債の減少4億6千4百万円があったものの、有利子負債が22億8千1百万円増加したことによるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億2千6百万円増加の790億4千4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少5億1千8百万円があったものの、為替換算調整勘定が12億5千4百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本年4月27日付の業績予想は変更していません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、タダノ・ファウン GmbH は平成24年5月11日付でファウン GmbH に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、存続会社であるファウン GmbH は同日付でタダノ・ファウン GmbH に商号変更しております。

また、合併の効力は平成24年1月1日に遡って発生しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、従来の方法に比べての当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,225	40,134
受取手形及び売掛金	35,041	30,779
商品及び製品	17,912	20,542
仕掛品	9,253	11,854
原材料及び貯蔵品	7,039	7,839
繰延税金資産	1,905	1,679
短期貸付金	1,136	1,079
その他	2,010	2,663
貸倒引当金	△480	△1,102
流動資産合計	114,045	115,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,314	9,209
機械装置及び運搬具(純額)	2,617	2,506
土地	19,704	19,751
リース資産(純額)	385	420
建設仮勘定	475	752
その他(純額)	951	1,012
有形固定資産合計	33,449	33,653
無形固定資産	867	855
投資その他の資産		
投資有価証券	6,234	5,367
繰延税金資産	4,089	4,406
その他	2,914	2,875
貸倒引当金	△423	△419
投資その他の資産合計	12,813	12,229
固定資産合計	47,130	46,738
資産合計	161,176	162,209

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,331	27,155
短期借入金	7,568	9,390
リース債務	204	225
未払法人税等	805	725
引当金	960	1,045
未払金	2,843	2,648
割賦利益繰延	353	293
その他	3,412	2,947
流動負債合計	44,480	44,432
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	9,883	10,308
リース債務	445	458
繰延税金負債	164	161
再評価に係る繰延税金負債	2,455	2,455
退職給付引当金	4,704	4,820
その他	525	527
固定負債合計	38,177	38,732
負債合計	82,657	83,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,846	16,846
利益剰余金	55,454	55,193
自己株式	△2,228	△2,232
株主資本合計	83,094	82,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,016	498
土地再評価差額金	294	294
為替換算調整勘定	△6,701	△5,446
その他の包括利益累計額合計	△5,389	△4,653
少数株主持分	813	868
純資産合計	78,518	79,044
負債純資産合計	161,176	162,209

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	19,594	28,240
売上原価	15,343	21,128
割賦販売利益繰延前売上総利益	4,251	7,112
割賦販売未実現利益戻入額	85	73
割賦販売未実現利益繰入額	1	12
売上総利益	4,335	7,173
販売費及び一般管理費	4,453	5,277
営業利益又は営業損失(△)	△117	1,895
営業外収益		
受取利息	18	20
割賦販売受取利息	41	21
受取配当金	64	61
負ののれん償却額	0	—
その他	61	30
営業外収益合計	187	133
営業外費用		
支払利息	162	135
貸倒引当金繰入額	—	354
その他	128	364
営業外費用合計	291	853
経常利益又は経常損失(△)	△222	1,175
特別利益		
固定資産売却益	17	0
特別利益合計	17	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	70
会員権評価損	—	3
特別損失合計	0	73
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△205	1,101
法人税、住民税及び事業税	183	269
法人税等調整額	△276	209
法人税等合計	△93	479
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△111	622
少数株主利益又は少数株主損失(△)	12	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△124	627

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△111	622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	△518
為替換算調整勘定	906	1,315
その他の包括利益合計	718	796
四半期包括利益	606	1,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574	1,363
少数株主に係る四半期包括利益	32	55

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	欧州	米州	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,629	2,181	3,623	17,434	2,160	19,594	—	19,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,334	809	64	4,208	15	4,224	△4,224	—
計	14,964	2,990	3,687	21,642	2,175	23,818	△4,224	19,594
セグメント利益又は損失(△)	△453	△143	132	△464	211	△253	135	△117

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間未実現利益消去135百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	欧州	米州	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,739	3,998	4,676	25,414	2,825	28,240	—	28,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,959	1,092	120	9,172	33	9,206	△9,206	—
計	24,699	5,091	4,797	34,587	2,859	37,447	△9,206	28,240
セグメント利益	1,359	91	384	1,835	234	2,069	△174	1,895

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、セグメント間未実現利益消去△174百万円が含まれております。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。